国際物流をデザインするエーアイテイー

タイ バンコク港

株式会社エーアイテイー

第34期 中間報告書

2020年3月1日～2020年8月31日

証券コード 9381

代表取締役社長 矢倉英一

株主の皆様には、
平素より格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。
さて、ここに第34期(2021年2月期)
第2四半期(累計)の
業績について
ご報告を申し上げます。

第34期(2021年2月期)第2四半期(累計)の連結業績について

当第２四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により、企業活動や国民生活に甚大な影響を与え、景気の悪化が急速に進みました。緊急事態宣言は解除されたものの、経済活動については、感染リスクが残る中で予断を許さない状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境としても、第１四半期連結会計期間では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から中国で春節休暇の延長が発表され、経済活動が停止したことで一時的に物流に停滞が生じ、また輸出品の製造が進まない状況となりました。中国では３月に入って製品の製造は徐々に再開され、物流の停滞も概ねが解消されましたが、日本では４月に緊急事態宣言が発出され、経済に大きな打撃を与え、個人消費の一層の落ち込みが懸念される状況となりました。

このような状況下、当社グループでは、テレワークの導入やオンラインでの商談等、新たな手法を用いた営業活動に取り組み、主に中国や東南アジアから日本への輸入海上輸送、通関や配送、また検品・検針・加工業務といった輸出入の付帯業務の受注増加に向けた活動を展開してまいりました。

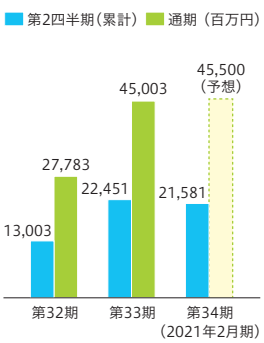
当社グループが展開する国際貨物輸送事業において取扱う多くの商材は、アパレル関連、日用品、雑貨や電化製品等といった主に日本国内で消費されるものであります。

当第２四半期連結累計期間において、アパレル関連の取扱いは、新型コロナウイルスの感染拡大によって外出機会が減少したことで消費が一層厳しさを増し、主に既存顧客を中心として低調な推移となりました。その反面、在宅時間が大幅に増えたことで、日常の生活に欠かせない日用品や生活雑貨、生活家電品等の取扱いは堅調な伸びとなり、アパレル関連製品の取扱減少を補う形で推移いたしました。また、販売費及び一般管理費では、テレワークの導入等により、人件費や事業活動に掛かる費用の圧縮に努め、利益の創出を図ってまいりました。

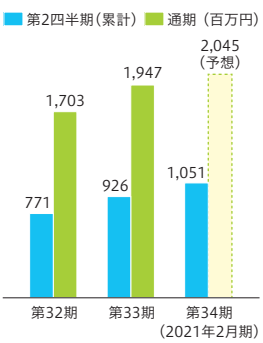
これらの結果、当第２四半期連結累計期間における営業収益は21,581百万円(前年同期比3.9%減)と前年同期を下回りました。しかしながら、利益の面では販売費及び一般管理費の削減効果等が寄与し、営業利益は883百万円(前年同期比19.2%増)、経常利益は1,051百万円(前年同期比13.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は716百万円(前年同期比11.3%増)と前年同期を上回ることとなりました。

業績ハイライト

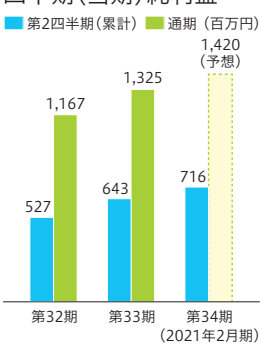
営業収益



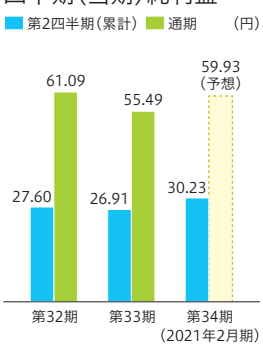
経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科　目	前期末 (2020年2月29日現在)	当第2四半期末 (2020年8月31日現在)
流動資産	15,452	**15,698**
固定資産	5,191	**4,828**
資産合計	20,644	**20,526**
流動負債	7,391	**7,256**
固定負債	1,537	**1,479**
負債合計	8,928	**8,736**
純資産合計	11,715	**11,789**
負債純資産合計	20,644	**20,526**

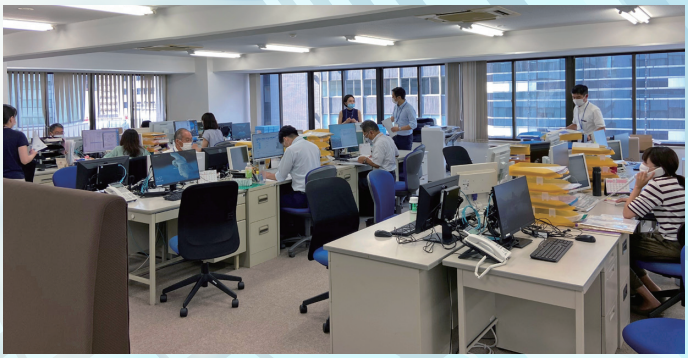
(注)前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、第33期第２四半期(累計)に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

日本初の輸入業務クラウド対応開始

輸入業務における通関依頼から請求書発行までをクラウド上で完結するサービスを開発、9月以降本格的に提供を開始しました。電子メールやファックスなどのやり取りが不要となり、お客さまとのやりとりにチャットを活用することで案件ごとの履歴を残すことが可能となります。また関係書類を一括出力することで税関の事後調査に活用できる他、船会社と輸入業者同士が個別に情報システムを開発する際の開発費用のコスト負担もなくなります。コストや納期などの優位性とは異なる、業務の効率化という側面での新たなサービス展開により、一層の企業価値の向上に努めてまいります。

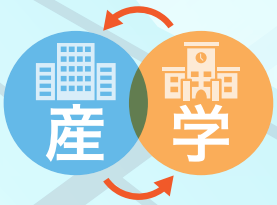
サテライト・オフィス開設

2020年9月1日より大阪市内にサテライト・オフィスを開設いたしました。業務体制を分散することにより、新型コロナウイルス感染症対策を進めております。また賃料圧縮も期待でき、コスト削減にも繋がります。感染症だけでなく、災害等の様々なリスクに対応し、業務を途切れさせない取り組みを今後とも進めてまいります。



大阪経済大学との産学連携

大阪経済大学と連携し、寄付講座「通関士講座」を開講しました。本講座と連動して、同大の学生を対象に、サテライト・オフィスにて3か月間の有償型インターンシップを実施しています。インターンシップでは、通関業務補助として学生が書類作成やデータ入力などに実際に携わり、通関士資格がどのように実務で活用できるかを体験してもらうことにより、学生の学びをサポートするとともに国際物流業界の魅力を伝えてまいります。



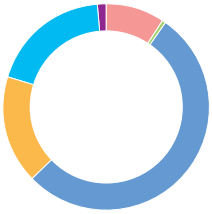
株式に関する情報

(2020年8月31日現在)

発行可能株式総数	53,856,000株
発行済株式総数	23,913,600株(自己株式303,933株を含む。)
株主数	7,145名

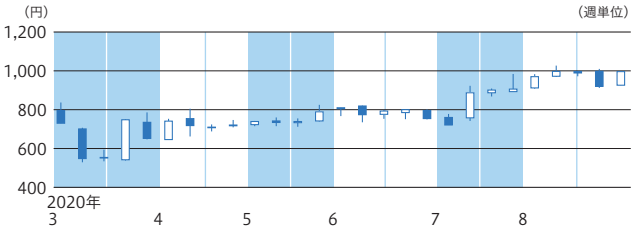
所有者別株式分布状況

(2020年8月31日現在)



金融機関	9.42%
金融商品取引業者	0.56%
その他の法人	52.86%
外国法人等	16.98%
個人・その他	18.90%
自己名義株式	1.28%

株価動向



会社概要

(2020年8月31日現在)

社名	株式会社エーアイテイー
英文社名	AIT CORPORATION
本社	〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目1番6号 堺筋本町センタービル15階 TEL.06-6260-3450(代表)
設立	1988年2月
資本金	271,140,311円
従業員数	1,328名(連結)、321名(単体)
事業内容	貨物利用運送事業(外航海運・国際航空貨物・貨物自動車・鉄道・内航)、航空運送代理店業、通関業、倉庫業、海運仲立業、損害保険代理店業、コンテナその他輸送器具の販売並びに輸出入、上記に付帯関連する一切の事業

取締役及び監査役

(2020年8月31日現在)

代表取締役社長	矢倉 英一	社外取締役	松田 佳紀
常務取締役	馬上 真一	社外取締役	寺田 光廣
取締役	大槻 信夫	常勤監査役	倉本 基洋
取締役	川峯 寛	社外監査役	西島 佳男
取締役	神宮司 孝	社外監査役	三村 淳司

株式会社エーアイテイー　大阪本社:〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目1番6号 堺筋本町センタービル15階
Tel. 06-6260-3450(代表)

UD FONT